

第9代社長就任に際して

「ワクワク・イキイキ」と 活躍し、成長できる職場づくりを目指す

株式会社 アルバック
代表取締役執行役員社長 岩下 節生



2017年7月1日付で代表取締役執行役員社長に就任しました岩下節生でございます。前任の小日向久治取締役会長より経営の舵取りを引き継ぎ、当社グループ事業のさらなる発展に向け、全力で取り組んでまいります。

1952年、「真空技術で産業界に貢献したい」という志をもって創業した当社グループは、果敢なチャレンジ精神で国内初の真空装置を手掛けました。そうした価値創造の源泉は「人」に他なりません。私はこの考えのもと、社長就任に際して、社員一人ひとりが「ワクワク・イキイキ」と活躍し、成長できる職場づくりをグループ全社に呼びかけました。新中期経営計画においても「人材の育成」に主眼を置いた経営基盤の強化を掲げています。

また当社グループは、真空総合メーカーとして装置のみならずコンポーネント、材料、表面分析等幅広く手掛け、成長・発展を遂げてきました。しかし各事業が連携し合い、それを強みとして活かしていくシナジー効果の発揮は、十分とは言えません。グローバル展開を加速し、真空技術による産業分野への貢献を拡大していくためには、グループ各社が相互に関心を持ち合い、他の事業領域への理解を深め、横のつながりを強めることが不可欠です。今後は、グループ内の情報共有・コミュニケーション機能を高めるとともに人事交流を促進し、組織の枠を超えて活躍できる人材を育てていくことで「真空技術の総合利用」につながるシナジー創出の土壌を築き上げていきます。

私自身、中国現地法人の経営も含めて30年近く海外をみてまいりました。その立場から、アルバックグループはもっと伸びると感じていました。私のミッションとして、社員の目線をグローバル志向に意識改革していくことで、成長の土台づくりを進め、「真空総合メーカー」としての新たな可能性を拓いてまいります。

岩下 節生 (いわした せつお) プロフィール

生年月日 1953年2月4日

出身地 熊本県

略歴

- 1978年3月 鹿児島大学 理学部 卒業
- 1984年3月 当社入社
- 1992年8月 当社海外業務部 北京事務所長
兼 上海事務所長
- 1995年9月 寧波愛発科真空技術有限公司 董事総経理
- 1998年7月 当社アジア本部 中国総部長
- 2006年3月 愛発科(中国)投資有限公司
董事総経理
- 2006年10月 愛発科商貿(上海)有限公司 董事長
愛発科真空技術(蘇州)有限公司 董事長
- 2011年9月 当社取締役
- 2013年9月 当社常務執行役員
- 2015年7月 当社専務執行役員、
愛発科(中国)投資有限公司 董事長
- 2016年9月 当社取締役専務執行役員
- 2017年7月 当社代表取締役執行役員社長 (現在)

…座右の銘は? ………

「天の利、地の利、人の和」。タイミングをつかむことは重要で、そのための準備やポジションも必要ですが、待っているのではなく、つかみにいくことが重要。最も大切なのは、人のチカラです。それぞれの強みを引き出し、コミュニケーションを大切にします。人材育成に力を注ぎ、活躍できる会社になりたいと思います。

…趣味は? ………

あらゆる人とコミュニケーションをとることです。よく食事に行きます。大学時代は沖縄流派の空手をやっていた。今は健康のためと脳の活性化のため、ジムに行って身体を動かしています。



経済産業省 「健康経営優良法人（ホワイト500）2018」認定 ——アルバックの健康経営について



代表取締役執行役員社長 岩下節生（左）、人事部健康推進室 産業医 伊藤裕康

(株)アルバックは、2018年2月20日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人（ホワイト500）2018」に認定された。これは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実施している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。アルバックでは、経営理念・方針と評価・改善の項目で特に高く評価された。

伊藤：アルバックは今年ホワイト500に認定されました。そもそも「健康」とはどんな状態でしょうか。

「健康」とは、単なる「病気ではない状態」ではなく、さらにその先の「Wellness」な状態で、より成功した生存のあり方を知り、追求する、積極的な状態と私は考えています。岩下さんは、アルバックにはどのような健康状態が望ましいとお考えですか？

岩下：そうですね、私は特に「精神的な健康」が望ましいと考えています。社には「わが社は人によって興り、人によって滅びる」とあります。社員一人ひとりが「ワクワク・イキイキ」

と活躍し、成長できる職場づくりをしたいと思っています。

伊藤：「ワクワク・イキイキ」とは、どんな状態ですか？なぜそれが大切なのでしょうか？

岩下：人は嬉しい時や楽しい時は興奮して120%くらいの力が出ますよね！会社でもそんな状態になって欲しいと思っています。本人にとってもそれが一番幸せなことです。本当の健康は、「夢があって、仕事が楽しく、職場に行くのが楽しくなる状態」だと思っています。達成感を得られて成功体験をして欲しいと思っています。そのためには上に立つ者がまず職場の雰囲気や社員一人ひとりをきちんとみる



2人が歩いている足元のマークは、身長による適正歩幅線。姿勢改善や脚力の向上、歩くことへの意識付けをねらう。

必要があります。

伊藤：そうですね。組織の健康的な考え方が健康につながりますね。アルバックでは、管理職が中心となって推める組織活性化プログラムや、多様な部門が一体となったウォーキング企画、食堂委員会などに積極的に取り組んでいます。運動はそれ自体が脳の活性化につながりますので仕事の効率化にも良いですし、コミュニケーションのきっかけにもなります。

日頃、ご自身の健康管理はどのようにされていますか？

岩下：結構気を付けていますよ。ジムでトレーニングをしたり、ウォーキングを心がけています。頭の切り替えにもなります。

伊藤：運動は健康づくりに欠かせませんね。アルバックにはどんな人財を求めていますか？

岩下：私たちのビジネス環境は変化の波がきており、飛躍的な成長が期待できる好機です。そのなかで自ら目的意識をもって、そのための自分の強みを自ら磨いてそれを活かして欲しいです。失敗を恐れず挑戦し行動してもらいたいのです。心身ともに健康で活気にあふれ、自分の能力を最大限に発揮してこそ、アルバックは社会に貢献し価値創造できると考えています。そのために社員の健康増進を重要な経営課題と位置付けて、健康経営への取り組みを今後も継続し発展させていく必要があります。

伊藤：会社もより健全な環境づくり、体制づくりが必要ですね。「目の前の人と心身ともに健康で活気にあふれるために、自分はどうしたら良いか」を一人ひとりが考えて行動できるようにしたいですね。今後も積極的に推進していきましょう。

アルバック・クライオ(株)

中国・韓国でクライオポンプの生産を拡大 京都低温技術開発センターを開設



京都低温技術開発センター



韓国アルバック・クライオ株外観

アルバック・クライオ(株)は、2017年7月にクライオポンプの生産拡大に伴い、中国浙江省寧波市にある寧波愛発科低温泵有限公司を同市内に移転、また、2018年4月に韓国に拠点を構える韓国アルバック・クライオ(株)でも社屋を増築した。同社は、フラットパネルディスプレイの分野におけるクライオポンプの世界シェアで90%以上を確保している。

今回の移転・増築により、工場の敷地面積は中国では約1.7倍、韓国では約1.9倍に広がった。韓国で

は作業台の高さを統一した生産ラインや、ロボット補助による作業負荷の軽減などで生産効率が向上した。中国ではクライオポンプの国産化に向けテストラインの自動化設備を導入するなど、生産量拡大とサービス体制の拡充を目指す。

また、同社は2016年11月に京都工場内に京都低温技術開発センターを開設した。近年の低温機器事業に関しては、2009年に4K極低温冷凍機の製造販売を開始、2014年5月に岩谷瓦斯(株)から低温機器事業の譲

渡を受け製造販売を開始している。

低温技術は、宇宙の成り立ちを解明する素粒子研究、量子コンピューター、超伝導を応用した新規物質探究など、宇宙工学から医療、一般産業にまで幅広い分野にそのニーズが高まっている。そこで利用される低温機器も超低温分野の高性能機器が必要とされており、お客様からの低温機器製品の開発要望に応えるべく、京都低温技術開発センターにより世界の低温技術基地と最先端製品開発の融合を図る。

- 従業員数 ・アルバック・クライオ(株) 130名
- ・韓国アルバック・クライオ(株) 95名
- ・寧波愛発科低温泵有限公司 38名 (2018年4月現在)



クライオポンプ組み立て現場 (韓国)



コンプレッサユニット組み立て (中国)



ロボット補助により作業負荷が軽減 (韓国)



寧波愛発科低温泵有限公司外観 (ビルの1~2階)



クライオポンプテスト (中国)

- お問い合わせ先
- アルバック・クライオ(株)
- TEL : 0467-85-8884
- URL : <http://www.ulvac-cryo.com>

アルバック・ファイ(株)

本社・工場を(株)アルバック内に移転 両社のシナジーに期待



本社エントランス



納品前の分析装置の検査



装置のデモンストレーション

アルバック・ファイ(株)は、1982年に日本真空技術(株) (現(株)アルバック)と米国のPhysical Electronics Inc.との合弁会社 (現在はアルバックが100%出資) として設立され、現在、主要な3種の表面分析手法、XPS、AES、SIMSすべてを扱う世界で唯一の表面分析装置専門メーカーである。

同社は2017年8月15日、アルバックの敷地内に本社・工場を移転した。同社でショールームの役割を果たす分析室は、以前の約3倍の広さで

整備された。装置ごとに独立した部屋を確保し、室内は充実した分析環境を実現している。装置のデモンストレーションのために長時間滞在される顧客も多いが、より快適な時間を過ごせるように分析室内に休憩スペースも併設した。保有する装置の台数も7台から10台に増え、より充実した顧客対応とアプリケーション開発が可能となっている。

また、これまで分散していた製造現場が移転を機に一箇所に集約され

た。装置の製造に必要なインフラやクリーンな環境の整備と併せ効率化が計られるとともに、生産性も向上している。

今回の移転により、アルバック技術開発部の分析部門とアルバック・ファイ分析室が同じフロアとなり、今後は技術連携をはじめ、様々な分野における多面的なシナジーが期待できる。

●従業員数 134名 (2018年4月現在)

●分析ラボ内の分析装置 (手法/機種/台数)

- ・X線光電子分光法 (XPS) / 4機種/計6台
- ・オージェ電子分光法 (AES) / 2機種/計2台
- ・飛行時間型二次イオン質量分析法 (TOF-SIMS) / 1機種/計2台



製造現場を一箇所に集約



装置ごとに独立した部屋を確保



分析室内の休憩スペース

●お問い合わせ先

アルバック・ファイ(株)

TEL : 0467-85-6522

URL : <https://www.ulvac-phi.com>

人財センター開設 グループ体となった人事戦略により 意識改革と共通価値を生み出す

—(株)アルバック

(株)アルバックは、2018年1月、新たに「人財センター」を開設した。2017年度アルバック中期経営計画の「目指す姿」の一つである「次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化」の推進を目的としている。

ビジネス環境に激変の波が押し寄せる中、会社の発展、技術革新、商品の競争は全て「人」に依存している。アルバックグループにとって「人」が一番重要な財産であることを改めて認識し、グループ横断人財育成体系の構築やグローバル人財の登用・育成、外部との積極的な人財交流などを行っていく。

「ULVAC Global Festival 2017 ～秋の大感謝祭～」開催

—(株)アルバック



(株)アルバックは、2017年11月11日、茅ヶ崎本社・工場にて、あらゆるステークホルダーの方々への感謝の気持ちを込めて、「ULVAC Global Festival 2017 ～秋の大感謝祭～」を開催した。

当日は、工場見学や真空実験をはじめ、社員が運営する各種模擬店、餅つき体験、縁日コーナー、国内外グループ会社によるグルメグランプリなどが行われ、5,000名を超える来場者で大盛況となった。

今回初お披露目のキャラクター「あるぱくん」も大人気で、お子さんと一緒に写真撮影をする姿が多く見かけられた。

●お問い合わせ先

(株)アルバック

TEL : 0467-89-2033

URL : <https://www.ulvac.co.jp/>

アルバックと MIT 「Hayashi-ULVAC MISTI Seed Fund」設立

—(株)アルバック

(株)アルバックは、2017年6月、米国マサチューセッツ工科大学（以下、MIT）の研究者と日本の研究者との共同研究活動を支援す

る「Hayashi-ULVAC MISTI Seed Fund」を設立した。当 Fund は、アルバックの第三代社長である故 林主税が2008年に創設した Fund を引き継ぐ形で資金提供したものの。

アルバックは、創業時に MIT 出身者が起業した NRC (National Research Corporation) から無償の技術支援を受けたという経緯もあり、これまでも MIT との間で様々な交流を行ってきた。当 Fund は、MIT のアルバックに対する功績に応えるとともに、両者が今後も密接な関係を維持し、日本の研究交流の橋渡しとなることを狙いとして設立した。



2008年10月、最初の「Hayashi MISTI Seed Fund」開設の折、ボストンの MISTI を訪れたときの写真（故 林主税第三代社長は左から2番目）

●お問い合わせ先

(株)アルバック

TEL : 0467-89-2033

「Hayashi-ULVAC MISTI Seed Fund」

URL : <http://misti.mit.edu/>

ulvac-hayashi-misti-seed-grant

中国科学院微电子研究所と 共同研究室設立を調印

—(株)アルバック



(株)アルバックは、2017年6月、中国科学院微电子研究所（総経理：葉甜春所長、以下、微电子研）と共同研究室を設立することに合意し、調印式を行った。

微电子研は、中国半導体業界において、最先端の製造技術と新規材料の応用、検証技術の発展をリードしている中国最高峰の半導体研究機関で、今後の中国半導体分野の発展において重要な役割を担っている。

中国政府は、中国製造 2025（メイドインチャイナ 10 年計画）の中で半導体分野の

強化方針を示しており、アルバックにとって中国半導体業界は市場としてのみならず、技術の最先端を共に切り開くパートナーとしても重要であると考えている。

●お問い合わせ先

(株)アルバック

TEL : 0467-89-2033

URL : <https://www.ulvac.co.jp/>

地域未来牽引企業に選定

—アルバック機工株



アルバック機工株は、2017年12月、経済産業省が地域未来投資促進法の活用を促進するために制定した「地域未来索引企業」に選定された。アルバック機工株は、全国で2,148社、宮崎県では38社の内の1社として選ばれた。

「地域未来牽引企業」とは、地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業が選定される。事業化戦略や販売開拓に関するコンサルティングや設備投資、税制の負担軽減、規制緩和などの支援を受けやすくなるというメリットがある。

●お問い合わせ先

アルバック機工株

TEL : 0983-42-1411

URL : <https://www.ulvac-kiko.com>

中国沈陽で新工場落成式典を開催

—愛発科真空技術（沈陽）有限公司



大型ディスプレイの映像演出とともに行われたレーザー章印起動式（式典開始宣言）

愛発科真空技術（沈陽）有限公司（以下、アルバック沈陽）は、2017年11月22日に新工場落成式典を開催した。

アルバック沈陽は、2016年10月にそれまでの合弁会社からアルバック100%の出資会社となり、さらなる発展を目指しての新工

場建設である。

式典当日は、中国各地のお客様、政府関係者、アルバックグループ各社の代表者など、100名を超える参加者を得て盛大に新工場落成式典が行われた。

●お問い合わせ先

(株)アルバック

TEL : 0467-89-2033

URL : <https://www.ulvac.co.jp/>

「LG Display 同伴成長 Award」受賞

—ULVAC KOREA, Ltd.

ULVAC KOREA, Ltd. (以下、韓国アルバック)は、2017年12月6日、韓国のFPDメーカーであるLG Displayから、FPD製造に多大な貢献があったとして、「LG Display 同

●新製品トピックス

(株)アルバック

パワーデバイス向けイオン注入装置「SOPHI (ソフィ)」2機種を開発

2017年7月、(株)アルバックは、パワーデバイス向け極薄ウェーハ対応・低加速イオン注入装置と高加速イオン注入装置「SOPHI (ソフィ)」2機種(「SOPHI-30」、「SOPHI-400」)を開発した。

パワーデバイスは、IGBT (Insulated Gate Bipolar Transistor: 絶縁ゲートバイポーラトランジスタ)をはじめ、SiC (Silicon Carbide)、GaN (Gallium Nitride: 窒化ガリウム)などの技術開発が進んでいる。

低加速・高濃度対応イオン注入装置「SOPHI-30」は、従来装置のデメリットを解消し、低加速・高濃度処理が当社比で1/60の時間で可能となり、枚葉処理のため極薄ウェーハ割れなどの問題を払拭した。

高加速対応イオン注入装置「SOPHI-400」は、極薄ウェーハを枚葉式で2.4MeVまで加速し処理することを可能にし、さらに次世代プロセスとして水素を使つてのField Stop層の形成も可能とするなど多くの面で改善が図られている。

●お問い合わせ先

(株)アルバック 営業本部電子機器営業部

TEL : 0467-89-2139

URL : <https://www.ulvac.co.jp/>



「SOPHI-30」



「SOPHI-400」



写真左はLG Display Shin Sang-Moon CPO(副社長)、写真右は韓国アルバック理事会長兼株アルバック常務執行役員 白忠烈

伴成長 Award」を受賞した。

本賞は全協会社の中で、素材2社、設備3社の計5社に授与されたもので、韓国アルバックは、8.5世代IGZOスパッタリングに関して、早急な納期対応とプロセスセットアップへの対応が認められて受賞することとなった。

●お問い合わせ先

(株)アルバック

TEL : 0467-89-2033

URL : <https://www.ulvac.co.jp/>

(株)アルバック

高速排気と低消費電力を両立 ドライ真空ポンプLSシリーズ



「LS120A」

2018年4月、(株)アルバックは、ドライ真空ポンプ「LSシリーズ」の販売を開始した。

一般的な低消費電力型ドライ真空ポンプは、大気圧付近の排気速度が小さく、排気時間が長くなるという課題があった。アルバックは、この課題を解決するために、高速排気と低消費電力を両立させたドライ真空ポンプ「LSシリーズ」を開発した。大気圧付近の排気速度を大きくすることで、高速排気(排気時間の短縮)を実現しつつ、これまでに培った独自技術により、消費電力の低減を実現した。

今回開発した「LSシリーズ」は、排気速度120~1200m³/hクラスの4機種で、装置の大きさや使用条件に合わせて最適な排気容量のポンプを選択できる。

■高速排気：大気圧付近の排気速度が大きく、排気時間の短縮が可能。

■低消費電力：高速排気を実現しつつ、到達圧力時の消費電力は業界トップクラスの0.6kW以下を達成。

■低騒音：専用サイレンサーを内蔵し、61dB(A)以下を実現。

●お問い合わせ先

(株)アルバック 規格品事業部

TEL : 0467-89-2261

URL : <https://www.ulvac.co.jp/special/ls-series/>

● ULVACの紹介はこちらをご覧ください。

<https://www.ulvac.co.jp/>



● Vacuum Magazine

<https://www.ulvac.co.jp/wiki/>



ULVAC グループ

株式会社アルバック
アルバックテクノ株式会社
アルバック九州株式会社
アルバック東北株式会社
アルバック機工株式会社
アルバック販売株式会社
アルバック・クライオ株式会社
アルバック・ファイ株式会社
タイゴールド株式会社
アルバック成膜株式会社
日真制御株式会社
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社
真空セラミックス株式会社
株式会社ファインサーフェス技術
日本リライアンス株式会社
株式会社昭和真空

■中国

愛発科(中国)投資有限公司
寧波愛発科真空技術有限公司
愛発科真空技術(蘇州)有限公司
愛発科東方真空(成都)有限公司
愛発科自動化科技(上海)有限公司
愛発科天馬電機(靖江)有限公司
愛発科真空技術(沈陽)有限公司
愛発科商貿(上海)有限公司
愛発科電子材料(蘇州)有限公司
愛発科豪威光電薄膜科技(深圳)有限公司
寧波愛発科精密鑄件有限公司
愛発科(蘇州)技術研究開発有限公司
香港真空有限公司
愛発科真空設備(上海)有限公司

■台湾

ULVAC TAIWAN INC.
ULTRA CLEAN PRECISION TECHNOLOGIES CORP.
ULCOAT TAIWAN, Inc.
ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.
ULVAC SOFTWARE CREATIVE TECHNOLOGY, CO., LTD.
ULVAC Materials Taiwan, Inc.

■韓国

ULVAC KOREA, Ltd.
Ulvac Korea Precision, Ltd.
Pure Surface Technology, Ltd.
ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED
ULVAC Materials Korea, Ltd.
UF TECH, Ltd.

■東南アジア

ULVAC SINGAPORE PTE LTD
ULVAC MALAYSIA SDN. BHD.
ULVAC (THAILAND) LTD.

■北米

ULVAC Technologies, Inc.
Physical Electronics USA, Inc.

■欧州

ULVAC GmbH

■皆様のご意見、ご感想を編集室までお寄せください。

〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500

TEL : 0467-89-2023

(株)アルバック 総務部 広報室

Eメールでのご意見、ご感想は

pr@ml.ulvac.com までお寄せください。